

## 令和元年度（霧が丘高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
令 遵守意識の向上 （公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	県民対応・保護者対応に関する苦情ゼロおよび公務外非行を行っている職員はゼロ	校内研修において、適切な県民対応・保護者対応について確認し、公務員として一層の自覚を促した。職員間のコミュニケーションを密にし、風通しの良い職場づくりをした。
わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為を行っている職員はゼロ	校内研修において、わいせつ・セクハラ行為について認識を新たにし、対職員、対生徒における不適切行為について具体の事例をもって認識を深めた。
体罰・不適切な指導の防止	体罰・不適切な指導を行っている職員はゼロ	校内研修において、生徒・保護者の信頼を損なう体罰について認識を深めた。啓発資料を参考に具体の事例によって学んだ。
定期試験・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止	定期試験・通知表等の作成、成績処理に係る事故件数ゼロ	校内研修において、定期試験や成績処理の事故防止について認識を深め、学務グループから示されるマニュアルに沿った業務遂行の徹底を図った。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	調査書・推薦書等の作成及び推薦等出願処理に係る事故件数ゼロ	校内研修において、調査書作成や指定校推薦会議に係る業務等の確実な遂行にむけて認識を深め、手順を確認した。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故件数ゼロ	校内研修において、公正な入学者選抜を行うための共通理解を図り、絶対に事故を起こさないとの認識のもと作業手順の確認、イレギュラー事項の報告・連絡・相談を徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守	交通事故件数、酒酔い・酒気帯び運転に係る交通違反件数ゼロ	校内研修において、特に飲酒運転による事故・違反の代償の大きさを認識するとともに、軽微な事故でも公私を問わず速やかに報告することを周知徹底した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務執行に係る事故件数ゼロ	校内研修や企画会議等も含めて、日頃から情報共有を図り、学校内外の状況を把握し、点検することの大切さを認識した。
会計事務等の適正執行	会計事務に係る事故件数ゼロ	校内研修や日頃の点検によって、公正な会計処理を行うための「私費会計基準」について周知を図った。適切な事務処理の方法について理解を深めた。

### ○ 令和元年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和2年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

事故防止会議では、県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料を中心として、具体的な事例を取り上げ自らの経験に照らして考える取組を続けてきた。この取組により、各項目について、職員が自身の問題としてとらえることができ、全ての項目で目標を達成することができた。

今後も、計画的に事故防止会議を実施し、「すぐそこにあるかもしれない事故」を起こさないようにとの思いを強くしていくことが肝要である。またその根底には、風通しの良い職場環境が不可欠と考えるので、職員間のコミュニケーションが、円滑に、活発に行われるように環境づくりに一層努めたい。さらに、令和2年度からインクルーシブ教育実践推進校が本格スタートすることから、職員の人権意識を高める取組に力を入れたい。